

変更契約書（建設工事）の作成方法について

請負工事において、設計変更により変更契約書を作成する場合には、下記の点に留意され作成願います。

① 「3. 変更工期」欄

工期変更がある場合は「工事内容変更について（通知）」の変更工期を記入してください。

工期変更がない場合は、年月日を記入せず「—」を記入してください。

| | |
|-------------|---------------|
| 〔例〕 3. 変更工期 | 平成 一年 一月 一日から |
| | 平成 一年 一月 一日まで |

② 「4. 前請負代金に対する増減額（うち取引に係る消費税及び地方消費税の増減額）」欄

請負代金額に増減がある場合、増額の場合は「増」を、減額の場合は、「減」を○で囲み「工事内容変更について（通知）」の増減額を記入してください。

| | | |
|-----------------------|---|------|
| 〔例〕 減額の場合 | | |
| 4. 前請負代金に対する増減額 | ○ | 〇〇〇円 |
| （うち取引に係る消費税及び地方消費税の額） | | 〇〇〇円 |

請負代金額に変更がない場合、円の前に「—」を記入してください。

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 〔例〕 請負代金額に変更がない場合 | | |
| 4. 前請負代金に対する増減額 | — | 円 |
| （うち取引に係る消費税及び地方消費税の額） | — | 円 |

③ 「5. 請負代金変更増減額に対する契約保証金」欄

当初契約で保証書（または保証金）を提出している場合は、「—」と記入してください。

また、当初契約で保証を免除されている場合は、「免除」と記入してください。

④ 6. 設計図書欄下の「平成__年__月__日締結した～」欄

「平成〇〇年〇〇月〇〇日締結した～」の日付は、直前契約の契約日を記入してください。

※第2回変更以降の変更契約書に明記する前契約の契約締結日は、直前（第1回変更）の契約日とする。

(例)

(変更契約書の明記する締結日)

| | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|
| 当初契約日 | 平成26年4月10日 | |
| 第1回変更契約日 | <u>平成26年5月20日</u> | <u>平成26年4月10日</u> |
| <u>第2回変更契約日</u> | 平成26年6月30日 | <u>平成26年5月20日</u> |

⑤ 「下野市建設工事請負契約書第__条の」欄

工期の変更の場合、「第24条」と記入してください。

請負代金額の変更の場合、「第25条」と記入してください。

工期と請負代金額の変更の場合、「第24・25条」と記入してください。

⑥ 収入印紙の貼り付け

契約書は2部作成し、1部は変更金額に応じた収入印紙を貼り、割印を押印し提出してください。

また、請負代金額に変更がない場合であっても、最低額（200円）の印紙を貼付してください。

⑦ 建設業退職金共済証紙購入報告書の提出

増額変更の場合は、増額分の購入報告書を、また、変更契約により請負金額が500万円を超えた場合は、変更請負代金額の購入報告書を速やかに提出してください。

⑧ 建設リサイクル法の適用となる変更契約書

建設リサイクル法の適用となる変更契約書は、建設リサイクル法対象業種の変更増減額を記載した説明書を作成し、発注担当課の確認後、別紙（変更用）を添付し作成してください。

※ 建設リサイクル法対象業種に増減がない場合には、

（7. 解体工事に要する費用等 別紙のとおり）の項目は、記入しない

※ ⑧について対象となる場合には、含めた形で袋とじすること。